

# 保育者養成校に対する保育現場の期待 —新潟県内幼稚園および保育所へのアンケート調査をもとに—

高山 千代・小黒美智子・伊藤 民子

Expectations of preschools toward schools for child care and education  
— Based on questionnaires to kindergartens and nursery schools in Niigata Prefecture —

Chiyo Takayama, Michiko Oguro, Tamiko Ito

## I はじめに

少子高齢社会の本格的な到来、子育て環境の変化に対応し、保育現場や保育環境に対するニーズが多様化し、保育者養成機関に対しては、より質の高い保育者の育成が望まれている。このような社会状況の変化の中で、近年の政策の策定、法律の新しい制定や改正の動きが著しい。最近では、幼稚園教育要領・保育所指針の改定、保育士資格の法律化、教職員免許状更新制度の実施を見ている。そして、保育士資格の国家試験の導入や4年制保育士養成課程の創設についての議論が引き続きなされているところである<sup>1)</sup>。

全国の教員・保育士養成短期大学において、修業年限を3年制または4年制へと改編する動きが顕在化する中、新潟県においても、平成21年度から幼稚園教諭養成課程を持つ県立新潟女子短期大学が4年制課程の新潟県立大学に姿を変えた。

本研究は、短期大学のこのような動向の中で、本学における今後の教員・保育士養成のあり方を検討する手だてを得るために、新潟県内の幼稚園、保育園（所）の管理職を対象に、修業年限と教育内容、保育者の専門性、新規採用の条件等についてのアンケート調査を実施し検討した。

## II 調査方法

1. 調査対象 新潟県内幼稚園、保育園の理事長、園長（校長）、副園長（教頭）  
・ 依頼総数862園（幼稚園 161園 保育所 701園）
2. 実施時期 2007年12月7日～12月末日
3. 実施方法 郵送によるアンケート調査（調査用紙は巻末に添付）  
・ サンプル総数597（幼稚園 141 保育園 419 記入なし 37）  
\* 回答園は、総数594園（回収率68.9%）であった。（複数枚回答園あり）  
\* 個人の情報が特定されないように、無記名による回答とした。

#### 4. 集計方法

サンプルは、所属園の種別（幼稚園、保育園および公立、私立別）に集計した。

設問は、3段階評定方式の回答および自由記述の回答からなる。3段階評定方式で回答を求めた項目については、評定の平均値、標準偏差を求めた。最大値は3、最小値は1であり、平均値が3に近づくほど肯定的な傾向が強く、1に近づくほど否定的な傾向が強いことを示している。

### Ⅲ 結果

#### 1. 回答者の概要

表1 所属園の種別

- 1) 回答者の所属は、全体で597人のうち、幼稚園が24%、保育園所属が70%であった。(表1参照)

	幼稚園		保育園		未記入	全体
	公立	私立	公立	私立		
サンプル数	71	70	289	130	37	597
割合	12%	12%	48%	22%	6%	100%

- 2) 所属園の設置地域は、新潟市157人(26%)、長岡市62人(10%)、上越市55人(9%)、佐渡市32人(5%)の四市で50%を占め、他の地域はそれぞれ26~0人(4~0%)であった。
- 3) 回答者の性別は、男性83人(14%)、女性509人(85%)、未記入5人(1%)であった。なお男性83人のうち、私立園の所属者は69人であり多数を占めた。(表2参照)

表2 性別

性別未記入者5人を除く

所属施設	幼稚園				保育園				未記入		全体
	公立		私立		公立		私立		男性	女性	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
サンプル数	4	66	29	40	7	281	40	89	3	33	592
割合	0.7%	11.1%	4.9%	6.8%	1.2%	47.5%	6.8%	15.0%	0.5%	6.3%	100%

(男性計83人 女性計509人)

- 4) 回答者の年代別の割合は、全体では、60歳代105人(18%)、50歳代434人(73%)、40歳代44人(7%)、30歳代12人(2%)、未記入2人(0.3%)であった。公立は幼稚園、保育園とも50歳代(93%、93%)が最も多いが、私立では、60歳代が幼稚園35人(50%)、保育園50人(38%)と多かった。
- 5) 役職は、全体で、理事長28人(5%)、園長・校長482人(80%)、副園長・教頭76人(13%)、未記入11人(2%)であった。
- 6) 保育園に在職する男性保育士数は、在職0人の回答は、公立235人(81%)、私立92人(71%)であり、1人在職は公立44人(15%)、私立23人(18%)、2人在職は公立2人(1%)、私立10人(8%)、3人在職は公立2人(1%)、私立2人(2%)であった。(幼稚園所属の回答者に対しては、質問に不備があり集計しなかった。)

#### 2. 保育者養成校の改編に対する意識

図1は、質問1から質問7までの回答をグラフにしたもので、回答者全体、幼稚園所属、保育園所属、未記入の4つのグループ別に平均値を示している。

幼稚園と保育園の回答は、ほぼ共通しており、全体的に肯定する回答が多かった。

全体の平均値において、質問5（小学校免許取得）は、2.0でどちらともいえないという回答であったが、他はすべて肯定的であり、質問1（改編に関心）は2.61、質問2（認定子ども園への関心あり）は2.7、質問3（4大卒業）は2.31、質問4（幼・保両免許取得）は2.8、質問6（本学の4年制）は2.52、質問7（3年以上の養成）は2.65という平均値を示した。（巻末資料 表3参照）

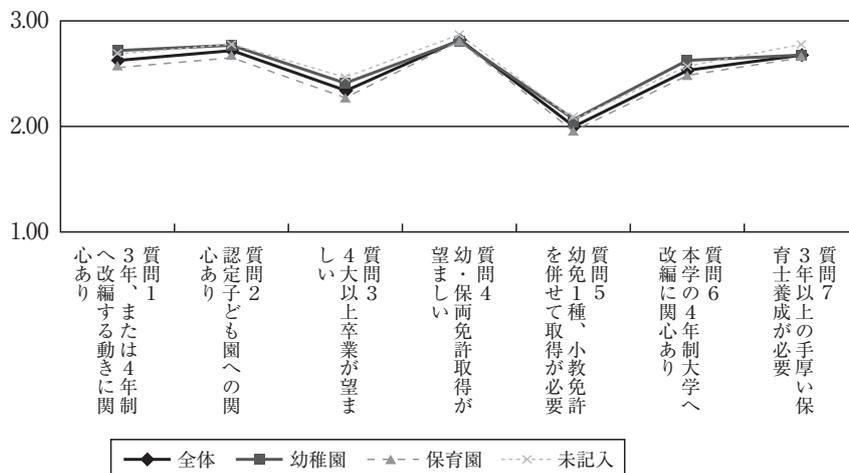


図1 保育者養成校の改編に対する意識 (4グループ別)

### 3. 今後の採用に関する意識

#### 1) 採用時の条件について

図2では、質問8と質問12~16の6項目について、4つのグループ別（図1と同様）に平均値を求めグラフに示した。

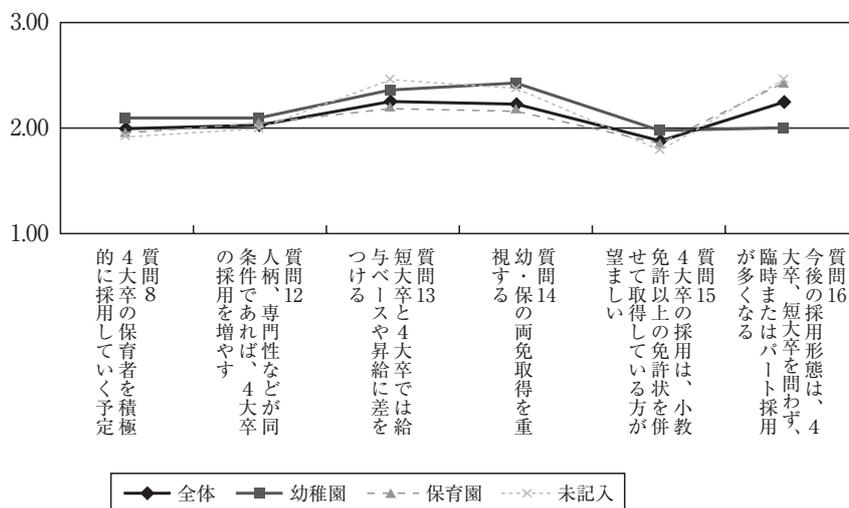


図2 採用時の条件 (4グループ別)

4グループ全体の平均値で見ると、質問8（4大卒積極的採用予定）は2.00、質問12（同条件で4大卒の採用）は2.05であり、4大卒の採用についてはどちらともいえない。質問15（4大卒、小教免許以上取得）は1.88であり、否定的な傾向を示した。

一方、肯定的な傾向を示した項目は、質問13（給与ベースや昇給に差）は2.38、質問14（両免許取得を重視）は2.36であった。質問16（臨時パート採用の増加）は、全体では2.37と肯定的であるが、幼稚園

では1.99でどちらともいえないという回答であった。

以上6項目については、いずれも平均値2.50を超えなかった。(巻末資料 表4参照)

## 2) 保育者としての人材への期待

質問9(就職までに備えて欲しい資質)の上位5つは、園の種別を問わず、順に①人柄、②基本的マナー、③一般常識、④意欲・情熱、⑤臨機応変であった。(巻末資料 表5参照)

質問10(就職までに備えて欲しい専門性)は、順に①子どもへの理解、②遊びなど実践力、③研究熱心、④安全への意識、⑤公立：障害児保育、私立：ピアノの技能という5つを選択した。(巻末資料 表6参照)

質問11(採用時に重視すること)の回答は、1番目「人柄」、2番目「保育の専門的能力」で、4つのグループ全てが一致していた。(巻末資料 表7参照)

質問17(4大卒に期待すること)は、幼稚園は①リーダーシップ、②研究、③公立：子育て支援、私立：障害児保育であった。保育園は①子育て支援、②健康安全、③公立：障害児保育、私立：リーダーシップであった。(巻末資料 表8参照)

## 3) 養成校に対する意見

自由記述には273人の回答があった。様々な記載内容について、キーワードによって分類したところ、そのキーワードは、「子ども理解」、「子どもを愛する心」「豊かな感性」「人間性」「人格」「品格」「コミュニケーション力」「明確な教育(保育)観」「研究心」「責任感」「信頼性」「真面目さ」「雰囲気」「元気」「気力」「体力」「逞しさ」「マナーの向上」「一般常識」「基礎的生活習慣」「書写能力」「正しい日本語」などであった。

## IV まとめ

今回の調査結果から、新潟県内の保育現場の指導者は、これから保育者になろうとする人には、教員・保育士の両方の免許・資格を取得することが望ましいと考え、短大が4大へ改編することについて肯定する傾向であった。また、本学の今後の4大への改編についても関心が窺えた。しかし、4大化した場合の幼稚園教諭一種免許に小学校教諭免許を併せて取得可能にする必要があるかについては、否定的な傾向であった。また、これから保育者になろうとする人に、4大以上を卒業することを望むかといえ、一概にはいえないとし、保育者採用の鍵は、第一には「人柄」であり、次いで「保育者としての専門性」であるとしている。設問中の自由記述には、このことを裏付けるような多くの記載があった。特に「人柄」についての記載が多数あり、現場からは、養成校の指導内容として「人格形成」が期待されていると受け止めることができる。保育者としての専門性と人柄については、従来の研究報告<sup>2)</sup>とも一致している。

質問7で、子育て環境の社会的変化に伴い、保育士の社会的責任が増大していることから、これからの保育士養成は、3年以上をかけて手厚く養成する必要があるかについて尋ねているが、それに対しては肯定的な回答であった。自由記述に見られた、養成期間を延長した分、現場体験を増やすことにより子ども理解を深めるのであれば、4大化に賛成するとの意見も、このことに通じていると推察される。

次に、4大化が進んだ場合、積極的に4大卒を採用するかについては、どちらともいえないという回答であった。その理由は、私立においては幼保を問わず、少子化傾向にあって4大卒の職員を雇用することは、給与面など職員の待遇を考えると経営上難しいとした記述が多かった。公立保育園においても、人事権はないが個人的な意見として、園児減少、経費削減、保育園の統合や民営化の流れの中で、

私立と同様に4大卒の採用は難しいとする意見があった。要するに、現場では、3年制・4年制へ改編して手厚く保育者養成する必要性は肯定しても、実際に4大卒の採用となると、積極的に受け入れる状況ではないとしているのである。加えて、人柄、専門性などが同条件であれば4大卒の採用を増やすかの問いについても、肯定的な回答ではなかった。さらに、今後の職員の雇用形態は、短大卒、4大卒を問わず、臨時、またはパート採用が多くなるとしており、採用について明るい見通しは感じられない状況が把握された。

最後に、回答者が採用にあたって保育者に求めることを5つ選ぶ問いには、幼稚園・保育園・公立・私立を問わず、いずれの園においても同様な結果が得られた。つまり、保育者の採用には、人柄のよさを大前提として、教養と基本的なマナーを備え、仕事には意欲、情熱を持ち、周りの状況判断を的確に行い、臨機応変な対応ができる人物が求められているのである。また、専門性については、こどもへの理解、遊びなどの実践力、安全への意識を持ち合わせ、研究熱心であり、障害児保育に対する理解やピアノの技能も高い方がよいとしている。

## V 今後の課題

まず、本研究のまとめと同様の調査結果を導き、さらに今後の課題として重要な示唆を得るものとして、幼稚園教諭養成および保育士養成それぞれについて、下記の2つの研究報告書を紹介する。

### 1. 平成19年度教職課程認定後の事後評価のあり方に関する調査研究事業 「資質の高い幼稚園教諭養成のための複合評価システムの開発」研究報告書<sup>3)</sup>

幼稚園現場への調査では、①「技能」よりも、「資質」や「意欲」が求められている。②幼稚園教諭採用の留意点として、専門的知見を備え自らの教育観を持つ、協調性やコミュニケーション力があり、意欲を持つ人材を求める。③教員養成大学には、教員養成以前に社会人の育成としての適切な教育を求める。という3点が報告された。教育委員会への調査では、先の幼稚園の調査結果と同様の傾向を示した上で、こども園を想定した養成カリキュラム、保護者へのカウンセリングマインドの形成、特別支援教育についての要望がなされた。既卒者への調査では、①教師としての基本的な姿勢、つまり教職に対する意識や教員としての高い資質の必要性を感じる。②特別に支援を要する子どもへの対応や保護者との対応に関して、理論面・実践面でのサポートを求める。③同僚や上司との人間関係に関する悩みにより、意欲や熱意の減退につながる。④出身大学へは、悩み相談や再就職支援、また教員だけでなく同級生との交流の場の設定を求める。という4点が報告された。

### 2. 保育サービスの質に関する調査研究<sup>4)</sup>

児童福祉施設への調査では、国家試験導入について、必要最低限レベルの国家試験を課すことに賛成61.9%、難易度の高い試験が9.1%、現行通り22.2%であった。保育士養成年限に関連して、幼稚園教諭免許のような二種・一種・専修性を支持する意見が44.2%、すべて四年生養成課程の資格が21.9%、現行通りが28.3%であった。保育士養成施設への調査では、国家試験導入について、養成校全体では現行通りが52.7%、必要最低限レベルの国家試験を課すは39.6%であった。保育士養成年限に関連して、幼稚園教諭免許のような二種・一種・専修性を支持する意見が49.1%、現行の2年間養成課程を基盤とする単一資格が26.0%、すべて四年生養成課程の資格が13.6%、となっていた。

質の高い保育者を養成し、保育現場において子どもたちの健やかな発達を支えることは、保育者養成校としての最たる務めである。しかし、現状として、教員・保育士を目指し入学してくる学生は、社会

人としての未熟さが問題になる例が多く、教育課程上の教育内容の他に生活の中での人格形成を期した教育が必要となってきたことは否めない。保育現場に送り出すために、より手厚く指導し育てることが、養成現場の課題であることは周知の事柄である。

今回の調査では、保育現場のニーズとしては、保育者の資質を高めるためには肯定的であるが、採用面から考えると4大卒の保育者を求めているとは言えず、短期大学から4年制大学への移行は必要に迫られてはいない。しかし、保育士の国家試験導入や4年制養成課程の資格についての議論と動向によっては、否が応でも変容が必要となってくるものである。これからの短期大学において、学生の実態を踏まえた上でどのような養成課程・教授内容の編成をするのか、その中での人間形成教育はいかにあるべきか、そして検討されている保育士の国家試験の導入についての議論を見据えた修業年限の検討は引き続き重要な課題となっている。

## 謝 辞

ご多忙中にも関わらず、多くの幼稚園・保育園現場の皆様より多大なるご協力をいただき、誠に有り難うございました。心より感謝申し上げます。

## <引用・参考文献>

- 1) 保育士養成資料集第27号 保育士の役割の再認識 1999、pp.155-159
- 2) 桜井慶一、保母に求められる資質に関する総合的研究(1)、県立新潟女子短期大学研究紀要No.34,1997、pp.1-10
- 3) 平成19年度教職課程認定後の事後評価のあり方に関する調査研究事業「資質の高い幼稚園教諭養成のための複合評価システムの開発」研究報告書 文部科学省教育方法等改善研究委託事業、2008、pp.18,pp.24
- 4) 保育サービスの質に関する調査研究 厚生労働科学研究費補助金政策科学推進事業、2009、pp.48-49, pp.159-160
- 5) 保育士養成資料集第47号 平成19年度全国保育士養成セミナー報告書 2008
- 6) 保育士養成資料集第44号 保育士養成システムのパラダイム転換 2006
- 7) 保育士養成資料集第46号 保育士養成システムのパラダイム転換Ⅱ 2007
- 8) 保育士養成資料集第48号 保育士養成システムのパラダイム転換Ⅲ 2008

[付記] この研究報告は、高山、小黒、伊藤、宮崎の共同研究であり、質問紙作成、データ処理、結果のまとめに至るまで、検討を重ねてまとめたもので、それぞれの分担部分の抽出はできない。

表3 養成校の改編に対する意識について

質問	全体		幼稚園				保育園				未記入					
	平均	標準偏差	公立		私立		公立		私立		平均	標準偏差				
			平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差						
質問1	2.61	0.54	2.78	0.45	2.62	0.51	2.70	0.49	2.61	0.53	2.52	0.61	2.58	0.56	2.66	0.5
質問2	2.70	0.57	2.87	0.41	2.59	0.62	2.74	0.54	2.80	0.42	2.42	0.76	2.68	0.58	2.75	0.5
質問3	2.31	0.65	2.46	0.55	2.28	0.68	2.37	0.62	2.31	0.62	2.22	0.72	2.28	0.66	2.46	0.6
質問4	2.80	0.50	2.87	0.37	2.70	0.57	2.79	0.49	2.85	0.41	2.70	0.63	2.80	0.50	2.81	0.6
質問5	2.00	0.74	2.14	0.72	1.99	0.79	2.06	0.76	2.01	0.71	1.89	0.79	1.97	0.73	2.08	0.8
質問6	2.52	0.67	2.67	0.63	2.54	0.63	2.60	0.63	2.56	0.64	2.31	0.75	2.49	0.69	2.51	0.6
質問7	2.65	0.57	2.71	0.54	2.59	0.62	2.65	0.59	2.70	0.53	2.55	0.65	2.65	0.57	2.70	0.6

表4 今後の採用に関する意識

質問	全体		幼稚園				保育園				未記入													
	平均	標準偏差	公立		私立		公立		私立		平均	標準偏差												
			平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差														
質問8	2.00	0.56	409	2.00	0.58	41	2.18	0.57	68	2.11	0.58	109	1.93	0.50	155	2.00	0.61	124	1.96	0.55	279	1.95	0.5	21
質問12	2.05	0.54	470	2.19	0.59	52	2.05	0.62	65	2.11	0.610	117	2.09	0.45	203	1.93	0.59	126	2.03	0.52	329	2.00	0.50	24
質問13	2.38	0.71	416	2.34	0.69	47	2.48	0.71	63	2.42	0.706	110	2.31	0.69	160	2.41	0.73	125	2.35	0.71	285	2.52	0.66	21
質問14	2.36	0.66	448	2.49	0.61	51	2.47	0.61	64	2.48	0.609	115	2.33	0.63	186	2.30	0.72	125	2.32	0.67	311	2.41	0.65	22
質問15	1.88	0.69	453	2.00	0.73	52	1.95	0.71	65	1.97	0.722	117	1.92	0.67	190	1.77	0.66	124	1.86	0.67	314	1.73	0.69	22
質問16	2.37	0.73	443	2.33	0.75	48	1.73	0.78	64	1.99	0.818	112	2.58	0.60	183	2.38	0.67	125	2.50	0.64	308	2.52	0.71	23

表5 就職までに備えて欲しい資質

質問9	全体		幼稚園						保育園						未記入									
	選択率	回答数	公立		私立		全体		公立		私立		全体		選択率	回答数								
			選択	回答数	選択	回答数	選択	回答数	選択	回答数	選択	回答数	選択	回答数										
1. 園児への指導力があること	36%	198	49%	30	61	45%	31	69	47%	61	130	34%	88	260	33%	42	129	33%	130	389	23%	7	31	
2. 保育者としての人材が優れていること	85%	471	89%	56	63	87%	61	70	88%	117	133	85%	220	260	81%	104	129	83%	324	389	97%	30	31	
3. 責任感が強いこと	47%	261	33%	20	61	47%	33	70	40%	53	131	50%	129	260	49%	63	129	49%	192	389	52%	16	31	
4. 基本的マナーを身につけていること	60%	328	51%	30	62	55%	38	69	52%	68	131	57%	148	260	70%	90	129	61%	238	389	71%	22	31	
5. 一般常識を身につけていること	63%	348	51%	39	62	55%	38	69	59%	77	131	65%	168	260	64%	82	129	64%	250	389	68%	21	31	
6. コミュニケーション能力が高いこと	47%	260	46%	28	61	51%	35	69	48%	63	130	49%	128	260	43%	56	129	47%	184	389	42%	13	31	
7. 自主研修や事前準備など仕事に対する意欲や情熱があること	61%	335	51%	40	61	61%	43	70	63%	83	130	65%	168	260	50%	65	129	60%	233	389	61%	19	31	
8. 創造性が豊かであること	28%	153	23%	14	61	39%	27	70	31%	41	131	23%	61	260	32%	41	129	26%	102	389	32%	10	31	
9. 周りの状況判断ができ、臨機応変な対応ができること	70%	385	51%	46	62	57%	39	69	65%	85	131	72%	188	260	73%	94	129	72%	282	389	58%	18	31	
10. その他	3%	18	551	3%	2	62	6%	4	69	5%	6	131	1%	3	260	6%	8	129	3%	11	389	3%	1	31

表6 就職までに備えて欲しい専門性

質問10	全体		幼稚園						保育園						未記入								
	選択率	回答数	公立		私立		全体		公立		私立		全体		選択率	回答数							
			選択	回答数	選択	回答数	選択	回答数	選択	回答数	選択	回答数	選択	回答数									
1. ピアノの技能に優れていること	31%	169	29%	18	63	53%	37	70	41%	55	133	17%	45	259	47%	61	129	27%	106	388	26%	8	31
2. 絵画製作や造形表現に優れていること	14%	78	51%	12	62	30%	21	70	25%	33	132	6%	16	259	21%	27	129	11%	43	388	6%	2	31
3. ダンスやリズムあそびなど身体表現にすぐれていること	18%	100	51%	12	62	30%	21	70	25%	33	132	13%	33	259	22%	28	129	16%	61	388	19%	6	31
4. 運動遊びが得意であること	21%	117	51%	17	62	24%	17	70	26%	34	132	18%	46	259	22%	29	129	19%	75	388	26%	8	31
5. 前述1~4以外の保育に生かせる特色分野があること	28%	155	51%	16	62	20%	14	70	23%	30	132	32%	82	259	26%	34	129	30%	116	388	29%	9	31
6. 子どもをよく理解していること	88%	485	90%	56	62	81%	57	70	86%	113	132	93%	240	259	81%	104	129	89%	344	388	90%	28	31
7. 指導計画などの立案能力が優れていること	24%	131	51%	15	62	30%	21	70	27%	36	132	22%	58	259	26%	33	129	23%	91	388	13%	4	31
8. 行事などの企画力が備わっていること	20%	109	51%	9	62	24%	17	70	0%		132	18%	47	259	22%	28	129	19%	75	388	26%	8	31
9. 障害児保育に対する理解が深いこと	43%	237	51%	21	62	37%	26	70	36%	47	132	55%	143	259	26%	34	129	46%	177	388	42%	13	31
10. 遊びなどでの実践力が優れていること	76%	419	51%	52	62	63%	44	70	73%	96	132	80%	207	259	70%	90	129	77%	297	388	84%	26	31
11. 研究熱心であること	54%	298	51%	36	62	54%	38	70	56%	74	132	51%	131	259	58%	75	129	53%	206	388	58%	18	31
12. 安全に対する意識が高いこと	69%	379	51%	35	62	44%	31	70	50%	66	132	80%	207	259	66%	85	129	75%	292	388	68%	21	31
13. その他	7%	36	551	3%	2	62	7%	5	70	5%	7	132	7%	19	259	5%	7	7%	26	388	10%	3	31

表7 採用時に重視すること

質問11	全体		幼稚園				保育園				未記入			
	回答数	%	公立		私立		公立		私立		回答数	%		
			回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%				
貴園では今後、採用時に重視することは何ですか。重視度の高い順に2つ答えて下さい。	166	28%	22	31%	20	29%	84	29%	33	25%	117	28%	7	19%
1. 保育の専門的能力	300	50%	28	39%	44	63%	123	43%	87	67%	210	50%	18	49%
2. 人柄	8	1.3%	1	1%	0	0%	4	1%	3	2%	7	2%	0	0%
3. 保育者資格の種別	2	0.3%	0	0%	1	1%	0	0%	1	1%	1	0%	0	0%
4. 性別	4	0.7%	0	0%	0	0%	2	1%	2	2%	4	1%	0	0%
5. その他 ( )	117	20%	20	28%	5	7%	76	26%	4	3%	80	19%	12	32%
6. 未記入	597	100%	71	100%	70	100%	289	100%	130	100%	419	100%	37	100%
合計	269	45%	27	38%	38	54%	115	40%	73	56%	188	45%	16	43%
2. 人柄	160	27%	17	24%	20	29%	80	28%	36	28%	116	28%	7	19%
3. 保育者資格の種別	27	4.5%	4	6%	4	6%	9	3%	8	6%	17	4%	2	5%
4. 性別	3	0.5%	0	0%	0	0%	0	0%	3	2%	3	1%	0	0%
5. その他 ( )	14	2.3%	3	4%	2	3%	3	1%	6	5%	9	2%	0	0%
6. 未記入	124	21%	20	28%	6	9%	82	28%	4	3%	86	21%	12	32%
合計	597	100%	71	100%	70	100%	289	100%	130	100%	419	100%	37	100%

表8 4大卒に期待すること

質問17	全体		幼稚園				保育園				未記入														
	選択率	回答数	公立		私立		公立		私立		選択率	回答数													
			選択率	回答数	選択率	回答数	選択率	回答数	選択率	回答数															
貴園で採用する4大卒の職員に期待することを3つ選んでください。	41%	182	33%	16	49	42%	26	62	38%	42	111	52%	101	196	25%	30	118	42%	131	314	41%	9	22		
1. 障害児保育	3%	14	446	0%	0	49	2%	1	62	1%	1	111	2%	4	195	6%	7	118	4%	11	313	9%	2	22	
2. 病児保育	46%	204	446	41%	20	49	29%	18	62	34%	38	111	57%	112	195	35%	41	118	49%	153	313	59%	13	22	
3. 子育て支援	4%	17	446	2%	1	49	6%	4	62	5%	5	111	2%	4	195	7%	8	118	4%	12	313	0%	0	22	
4. 学童保育	47%	210	446	57%	28	49	63%	39	62	60%	67	111	41%	80	195	47%	55	118	43%	135	313	36%	8	22	
5. 職場でのリーダーシップ	32%	142	446	51%	25	49	52%	32	62	51%	57	111	22%	42	195	33%	39	118	26%	81	313	18%	4	22	
6. 研究	19%	83	446	6%	3	49	5%	3	62	5%	6	111	22%	42	195	25%	30	118	23%	72	313	23%	5	22	
7. 乳児保育	41%	182	447	32%	16	50	21%	13	62	26%	29	112	42%	81	195	53%	62	118	46%	143	313	45%	10	22	
8. 健康・安全指導	26%	114	446	33%	16	49	23%	14	62	27%	30	111	29%	57	195	18%	21	118	25%	78	313	27%	6	22	
9. 環境教育	7%	31	446	4%	2	49	5%	3	62	5%	5	111	5%	10	195	13%	15	118	8%	25	313	5%	1	22	
10. 広報活動	26%	116	446	33%	16	49	35%	22	62	34%	38	111	18%	35	195	31%	37	118	23%	72	313	27%	6	22	
11. 情報処理能力 (パソコン)																									

## 保育者養成に関するアンケート調査

新潟青陵大短期大学部  
幼児教育学科

### 回答者の属性をお聞きします（該当する番号に○を付けて下さい）

1. 所属園の種別    1. 公立幼稚園    2. 私立幼稚園    3. 公立保育園    4. 私立保育園
2. 設置地域    1. 新潟市    2. 長岡市    3. 上越市    4. 三条市  
5. 柏崎市    6. 新発田市    7. 小千谷市    8. 加茂市  
9. 十日町市    10. 見附市    11. 村上市    12. 燕市  
13. 糸魚川市    14. 妙高市    15. 五泉市    16. 阿賀野市  
17. 佐渡市    18. 魚沼市    19. 南魚沼市    20. 胎内市  
21. 北蒲原郡    22. 西蒲原郡    23. 南蒲原郡    24. 東蒲原郡  
25. 三島郡    26. 北魚沼郡    27. 南魚沼郡    28. 中魚沼郡  
29. 刈羽郡    30. 岩船郡
3. 回答者の性別    1. 男性    2. 女性
4. 回答者の年齢    1. 60歳以上    2. 50歳代    3. 40歳代    4. 30歳代
5. 所属先での役職    1. 理事長    2. 園長（校長）    3. 副園長（教頭）
6. 保育職員の構成    1. 男性保育士（    ）人    2. 女性保育士（    ）人

### 保育者養成校に対する考えをお聞きします（該当番号に○を付けてください）

質問1. いま、保育者養成校では短大を3年制または4年制大学へ改編する動きが活発になっています。あなたはこの動きに関心がありますか。

3. 関心がある    2. どちらともいえない    1. 関心はない

質問2. 幼保一元化に向けて、都市部では「認定子ども園」が増える傾向にあります。あなたはこの動きに関心がありますか。

3. 関心がある    2. どちらともいえない    1. 関心はない

質問3. これから幼稚園教諭、または保育士になろうとする人は、4年制大学以上を卒業することが望ましいと思いますか。

3. そう思う    2. どちらともいえない    1. そう思わない

質問4. これから幼稚園教諭、または保育士になろうとする人は、幼稚園教諭2種免許または1種免許と保育士資格の両方を取得しておくことが望ましいと思いますか。

3. そう思う            2. どちらともいえない            1. そう思わない

質問5. 幼稚園教育要領、および保育所保育指針の改訂作業が進められています。幼小連携は、今後さらに求められるものと思われます。これから幼稚園教諭1種免許状を取得する場合、小学校教諭の免許状もあわせて取得できるようにする必要がありますか。

3. そう思う            2. どちらともいえない            1. そう思わない

質問6. 首都圏の保育者養成校の多くは、より質の高い保育者養成を目指して4年制大学へ改編が進められています。本学における、幼稚園教諭一種免許状取得についてどう思いますか。

3. 取得できることが望ましい    2. どちらともいえない    1. 現状（二種免許状）でよい

質問7. 子育て環境の社会的変化に伴い、保育士が担う社会的責任は増大しています。指定保育士養成校では2年制短大を3年制短大へ改編しているところも出てきています。これからの保育士養成は3年以上をかけて手厚く養成する必要があると思いますか。

3. そう思う            2. どちらともいえない            1. そう思わない

貴園の今後の採用についてお聞きします。（該当番号に○を付けてください）

質問8. 首都圏の保育者養成短期大学では4年制大学への改編が進んでいます。貴園では、今後4大卒の保育者を積極的に採用していく予定ですか。

3. 採用する予定である            2. どちらともいえない  
1. 採用は考えていない（その理由 \_\_\_\_\_）

質問9. 貴園では保育者として採用時に、就職までに備えていて欲しい資質にはどのようなものがありますか。重視することを5つあげてください。

- 1. 園児への指導力があること
- 2. 保育者としての人柄が優れていること
- 3. 責任感が強いこと
- 4. 基本的マナーを身につけていること
- 5. 一般常識を身につけていること
- 6. コミュニケーション能力が高いこと
- 7. 自主研修や事前準備など仕事に対する意欲や情熱があること

8. 創造性が豊かであること
9. 周りの状況判断ができ、臨機応変な対応ができること
10. その他 ( )

質問10. 貴園では保育者として採用時に、就職までに備えていて欲しいと考える専門性はどのようなことですか。重視することを5つあげてください。

1. ピアノの技能に優れていること
2. 絵画製作や造形表現に優れていること
3. ダンスやリズムあそびなど身体表現にすぐれていること
4. 運動遊びが得意であること
5. 前述1.～4.以外の保育に生かせる特色分野があること
6. 子どもをよく理解していること
7. 指導計画などの立案能力が優れていること
8. 行事などの企画力が備わっていること
9. 障害児保育に対する理解が深いこと
10. 遊びなどでの実践力が優れていること
11. 研究熱心であること
12. 安全に対する意識が高いこと
13. その他 ( )

質問11. 貴園では今後、採用時に重視することは何ですか。重視度の高い順に2つ答えて下さい。

1. 保育の専門的能力
  2. 人柄
  3. 保育者資格の種別
  4. 性別
  5. その他 ( )
- 一番目       二番目

質問12. 貴園では、人柄、専門性などが同条件であれば短大卒より4大卒の採用を増やしますか

3. そうする
2. どちらともいえない
1. そうしない

質問13. 貴園では、短大卒と4大卒では給与ベースや昇給に差をつけますか

3. そうする
2. どちらともいえない
1. そうしない

質問14. 貴園で今後の採用に当たっては、保育士資格および幼稚園教諭1種または2種免許の両方を持っていることを重視しますか

3. そうする
2. どちらともいえない
1. そうしない

質問15. 貴園で今後4大卒を採用する場合、小学校教諭以上の免許状を合わせて取得している方が望ましいと思いますか

3. そう思う            2. どちらともいえない            1. そう思わない

質問16. 貴園では、今後の採用形態は、4大卒、短大卒のいずれであっても、臨時またはパート採用が多くなると思いますか

3. そう思う            2. どちらともいえない            1. そう思わない

質問17. 貴園で採用する4大卒の職員に期待することを3つ選んでください。

- 1. 障害児保育
- 2. 病児保育
- 3. 子育て支援
- 4. 学童保育
- 5. 職場でのリーダーシップ
- 6. 研究
- 7. 乳児保育
- 8. 健康・安全指導
- 9. 環境教育
- 10. 広報活動
- 11. 情報処理能力（パソコン）


最後に、保育者養成校に対するご意見をお聞かせ下さい。

ご協力ありがとうございました。

